立教大學新聞
発行所
豊島区池袋三丁目
© 立教大学新聞学会
振替東京 70852
電話(971)3121—9内線97
発行人 野口定男
毎月廿日発行

二階に学習参考書を陳列して御座います
芳林堂書店
池袋西口バス通り
TEL(971)四〇〇〇・八〇二五

主体性を確立せよ

卒業生に望む

総長 松下正寿

今日、本学を卒業される学部二三三〇名、大学院四二名の諸君を社会に送出するにあたり私は諸君に対し希望と確信を持って社会に進出することを勧めたい。希望と確信を持つということは諸君の前途が平々坦々たるものであり、人類社会にパラダイスが実現されているという意味ではない。諸君の前途には幾多の困難が横たわっており、人類社会には苦脳が満ちあふれている。そしてその苦脳は放っておけば自然に治るという性質のものではなく、我々が勇気と叡智をもって積極的に戦い、克服しなければ人類の方が克服されるという誠に深刻無比なものなのである。人類は地上に発生したのは約五十万年前と推定されている。人類は初め狩猟や遊牧によって生存を営み、農業を始め土地に定着するまで四十七万五千年という長年月を経過した。農業時代から十八世紀後半かが産業革命は今なお進行中であるが今日まで約二百年を経過している。産業革命に到るまで文明の進歩は極めて遅々たるものであったが、産業革命以来テンポは急速度に高まった。然るに最近における科学技術の進歩にはまことに驚くべきものがある。原子力、オートメーションの導入とその威力に驚いていたわれわれは昨年九月人工衛星の打ち出しを見て、人智の進歩に驚歎すると共に如何にしてこの急速度の進歩に心の歩調を合せるべきかについて不安と焦燥を感じるようになった。科学技術の進歩発達が人類の大きな福音であることは明かである。特にアメリカ合衆国と西ヨーロッパのように完全雇用に近い状態にある所では科学技術の進歩発達は労働力を節約し生産力を増大せしめるであろう。併し科学技術の進歩発達は決して無条件の福音ではない。オートメーションの導入から生ずる労働者特に最も影響を受ける知識労働者の失業問題を如何にして解決する時代とはどういう時代であるかを知らないのであるが、変化のテンポの物すごく早い時代であることは確かであると思う。諸君は正にこの変化のテンポの物すごく早い時代を迎へて社会に進出しようとしているのである。諸君はこの時代を選んだのではない。諸君はこの時代におかれたのである。諸君はこの時代を拒むことが出来ない。併し二つ確かである思われることがある。それは変化のテンポが一層早まるということである。狩猟遊牧時代は四十五万五千年もつづいた。変化のテンポは極めて緩慢であった。農耕時代は二万五千年つづいた前よりはテンポは早くなったが相当長い期間であった。産業革命から今日まで二百年、テンポは急激に早くなった。私は宇宙の歩調と自信、且つ即時に行動されるのである。併し柔軟な筋肉を持つためには不動の筋金が必要である。筋金が通っておらぬ場合は筋肉は硬直し筋肉の硬直は運動を弱く且つ緩慢にする。小人は人の忠言を傾けない。小人は主体性が無いから人の忠言に耳を傾けると動かされることを恐れるからである。それに反して聖人は従うこと氷の流るるが如しと言われている。聖人は主体性が確立しているから誤に従う。聖人は動かされることを恐れない。何となれば聖人は受動的に動かされるのではなく、主体的に動くからである。私は先日招待を受けて「十戒」という映画を見た。イスラエルの英雄モーゼが エジプトに奴隷としてつながれていたイスラエルの民を解放することを主題としたものである。イスラエル人は四十年荒野をさまよった。その度にイスラエル人は逆った。時としては神に背き、時としてはモーゼを殺してエジプトへ帰ろうとした。独りモーゼは不動の信仰をもって目的に進んだ。彼はあらゆる変化に対し臨機応変、適切な処置をとつ た。

はこの時代を拒むことが出来ない。諸君のなし得ることは、てなすべきことはこの時代に調和し、適合することである。何にして調和するか。物すごいテンポで変化する時代に調和し適合するというのは変化に追いかけられ疲労困憊することではない。変化に調和し、適合するためには調和し、適合する主体が確立していなくてはならない。主体性とは筋金である。筋金が通っていて初めて変化に対し調和し適合して行くことが出来るのである。スポーツを した人は誰でも経験した筈である。スポーツに一番大切なのは筋肉の柔軟性である。筋肉が柔軟であればこそ、あらゆる変化に対し自由自在、且つ即時に行動されるのである。併し柔軟な筋肉を持つためには不動の筋金が必要である。筋金が通っていて初めて変化に対し調和し適合して行くことが出来るのである。スポーツを した人は誰でも経験した筈である。スポーツに一番大切なのは筋肉の柔軟性である。筋肉が柔軟であればこそ、あらゆる変化に対し自由自在、且つ即時に行動されるのである。併し柔軟な筋肉を持つためには不動の筋金が必要である。筋金が通っておらぬ場合は筋肉は硬直し筋肉の硬直は運動を弱く且つ緩慢にする。小人は人の忠言を傾けない。小人は主体性が無いから人の忠言に耳を傾けると動かされることを恐れるからである。それに反して聖人は従うこと氷の流るるが如しと言われている。聖人は主体性が確立しているから誤に従う。聖人は動かされることを恐れない。何となれば聖人は受動的に動かされるのではなく、主体的に動くからである。私は先日招待を受けて「十戒」という映画を見た。イスラエルの英雄モーゼが エジプトに奴隷としてつながれていたイスラエルの民を解放することを主題としたものである。イスラエル人は四十年荒野をさまよった。その度にイスラエル人は逆った。時としては神に背き、時としてはモーゼを殺してエジプトへ帰ろうとした。独りモーゼは不動の信仰をもって目的に進んだ。彼はあらゆる変化に対し臨機応変、適切な処置をとつ た。

の強い信仰、そしてなすべき事柔軟性は彼に賜わった不動の信仰に基づくものであった。主体性あるものは彼方に動く。主体性の無いものは彼方にしてもらい。

今日、本学を卒業される諸君は物すごいテンポで変化する時代に社会人となろうとしている。あらゆる困難、あらゆる試練が諸君を待ちかまえている。諸君のなし得ることは、この時代を呪世の小人は諸君にこの時代を呪へと勧めるであろう。諸君は拒否しなくてはいけない。また他の小人は時代に流されることを勧めるであろう。諸君はこれを拒否しなくてはいけない。諸君にとって何よりも必要なことは主体性の確立である。確固たる主体性を持つ者にして始めてこの物すごいテンポで変化する時代に調和し、適合することが出来るのである。我々は諸君の任学中及ばずながら立教建学の精神を以て諸君を指導して来たつもりである。我々の力が足りなかったため十分なことは出来なかったかも知れない。併し諸君は必ず立教建学の精神を体得した筈である。若し諸君がこの立教建学の精神を諸君の筋金とする時諸君の前途は洋々たるものである。私は諸君が希望と確信を以て社会に進出することを御勧めして私の餞別の言葉とする

学院寄付行為改正

大学同窓会案決

去る二月十七日開かれた同窓会理事会では同窓会立案の学院寄附行為改正案を学院寄附行為改正案を学院寄附行為改正案のものであるが、それは主にして人道主義の立場からであったが、今日においては人類の自己保存の立場から戦争の絶滅は絶対的要請となった。如何にして戦争を絶滅するか。

人工衛星の出現により人類は宇宙時代に進んだといわれている正にその通りだと思われるのであるが、宇宙時代とは一体どういう時代であるか。人間が月の世界に旅行する時も程遠からぬ将来であるといわれているが、それは一体人間の生活にどのような影響をおよぼすか。無責任な想像をめぐらすのは自由であるが我々の信頼する科学者は宇宙時代の内容を未だ教へてくれない。

卒業式行わる……

山際日銀総裁らを迎えて

昭和三十二年度本学卒業式は、三月二十五日午前十時(文、理学部)同午後二時(経済学部)の二回にわたって挙行された。式は松下総長、マッカーサー二世の祝辞に続いて、午前中には文化勲章受賞者の長谷川如是閑氏、午後には日本銀行総裁日際正直氏の記念講演があった。今年度の卒業生数は文学部三八八名、経済学部一〇〇名理学部四六名、大学院四十二名である。

社、理学部の集中自立つ

本年度の受験状況

昭和三十三年度の本学受験者は経済学部八六七七名(二四・八倍)、文学部三二四一名(九・〇倍)、理学部一〇八四名(一〇・一倍)社会学部二四五八名、総計二二六〇名で、三十二年度の一〇二四名をはるか上回っている。今年度から学部昇格した社会学部では募集人員一五〇名に対し一六・四倍というはげしい競争率を示している。また科学振興政策の影響のためか理学部の受験者が四八二名、七七二名、一〇八四名と毎年増加しているのは著しい傾向である。

武谷教授ブラジルへ

サンパウロの物理研究所長に就任

来月から本学理学部武谷三男教授が一年の任期でブラジルの理論物理学研究所の所長に就任する。日本原子核特別委員会は昨年九月からブラジル政府より書簡でサンパウロにある公立理論物理学研究所の所長と教授として日本の学者から適任者を派遣してほしい旨、要請され、その選考を武谷教授と東大梅沢助教授に一任していたが今度、武谷教授自ら所長の任にあたることを承諾、教授に推薦された京大基礎物理研究所片山泰久助教授と共に四月の上旬に出発する。現在武谷教授は学部、大学院あわせて十余りの講座を担当されているが、来年度の後任をどうするかは、四月に入ってから理学部教授会で決定する見込みである。

武谷教授談　以前に我々の素粒子論グループがブラジルの同胞から援助を受けているし今度は恩返しの意味でも頑張ってくるつもりです。私の研究も多忙から解放されて大いに進められると思っている。

精密検査に新威力

廻転陽極管球撮影台を購入

診療所では五月の身体検査までに四十七万円を投じて、二重照射の廻転陽極管球撮影台を購入することになった。これはX線検査に用いられる兼式の撮影台で、今後の精密検査の一大偉力となることだろう。

三十三年度文化会予算委員会

委員長信任をめぐり混乱

審議未了のまま四月まで持ちこし

三月一日に行われた昭和三十三年度文化会予算委員会の席上で、常任委員の木村君(弁論部)から緊急動議として中桐委員長に対する不信任案が提出された。その内容は新規約に対する違反、無計画性など八点を追求したものである。協議の後、投票に入つたが不信任は否決された。しかし賛否の差の少ないことから委員長からの要望の形で行った信任投票は否決された。このため文化会では前例にない委員長不信任という事態が起り議場は混乱した。一方、常任委員会に対しては信任した。

また、九日緊急キャップ・マネ会議が開かれ、本部の委員長不信任に対する見解が述べられ、委員長復活案が出された。しかしその復活も成立しなかったため、常任委員会は辞表を提出した。その後選挙管理委員会が代行し議事を運営した。

まず常任委員会の辞表を受理し暫定的に委員会を成立し、四月の再選挙日程まで決定した。が、十二日に至つて再度緊急キャップ・マネ会議が開かれ、暫定委員会から再び委員長復活が望まれ、ついに委員長の復活をみた。このため三十三年度の文化会予算は本部予算の減少額を剰余金で繰り上げ再審(うちチャプレン一)二。

卒論提出者一一四名

三千二百度、卒業論文は英米文学科および社会学科の本年度卒業生から必修選択となり、英米文学科は在籍者一六七名中八十四名、社会学科三三〇名中三〇名が提出した。

昭和32年度

体育会々長賞決る

体育会では、一月二十四日午後三時半から、タッカー・ホールで三十二年度第二回総会を開き、体育会会長賞授与、今年度優秀クラブの表彰、新卒業生にO・Bクラブから記念品バッチの贈呈および新役員の紹介を行った。今年度の会長賞の受賞者は、片石(バドミントン)長嶋、杉浦硬式(野球)清水(水泳)桜井(アイスホッケー)の五名で、後藤会長から賞状とバッチが贈られた。

この日、会場のタッカー・ホールの壇上には、今年度各部の精進を物語る優勝杯、優勝旗など多数が並べられ、体育会会員の全員が顔を揃えた。

席上、挨拶に立つた後藤体育会会長は「体育活動は各人のもつ内面的なものの表示であり人格を形成していくうえの営みである。幣に体育会でのファイティングスピリットを発揮し、充実をなしたものを審査の結果決定し賞状と記念バッチを贈つて、その功績を讃えるものである。

今回の受賞者をみると

○長嶋茂雄、杉浦　忠・三十年フイリッピンで行われた第二回アジア、アマチュア野球選手権に出場

○桜井　俊・三十二年モスクワで開かれた世界水上選手権の日本アイスホッケー代表

○片石兼敏・三十二年コロンボで開かれた第四回世界バドミントン東洋ゾーンに日本代表選手として出場

○清水　健・三十一年のメルボルンオリンピックに日本水泳代表として出場

写真・上から長嶋、杉浦、桜井、片石、清水の各選手

就職一、◎二九名……94%に

昨年を上廻る好調

三月十四日までの今年度の就職決定者は一、〇二九名、希望者一、〇八八のうち九四%に達した。学生人事部の話では昨年をやや上廻る程度ということである。学部・学科・業種別の数字は別表のとおりである。(自家営業、進学、大学院の就職者は除く)

概況　今年の三月十四日までの就職状況をふりかえつてみると、今年度の就職戦線は去年の"神武景気"の後退と、金融引締というデフレ政策下の経済界の動向のなかで、暗い見通しでスタートをきった。しかし、いざフタをあけてみると、予想を裏切つてむしろ昨年よりも上廻ることとなった。九月二十日現在の求人申込みは三二七社に達し、昨年度の一・三倍強という出足のよさであつた。十一月十八日までには四三〇名の決定者をみた。十二月十一日までには五五一名、さらに今年に入つて一月十七日現在、六九八名となり、神武景気の昭和三十二年の一月十四日現在、五三三名を上廻つてしまつた。

業種別でみると昨年と大差なく、いかわらず商事、車輌、金融、証券の各分野に強みをみせている。"新地開拓"の様子もうかがわれたのも今年の特徴のようで、日立製作所へ事務系二、技術系二の四名を、また談話社へ文学部から二名を送り込んだことなどや、地方銀行への進出などが目立つた。また、東京トヨペットには実に十六名、日本通運、日興証券にはそれぞれ八名、明治生命には十三名など大量入社も著しい傾向であつた。女子は例年のとおり不調、NHKにアナを送り込んでいるくらいが目立つ程度。学部別に見ると経済学部は順調であつたが文学部はやはり不調のようだつた。文学部でも社会学科は比較的のびており、なかでも労務管理班は強みを見せていた。

就職率の内訳をいえば経済九八%文七九%、理九五%、総計九四%となつている。

十一月までに三名が注意を解かれ健康体になつている。最後に卒業生全員が二十九年入学以来の四年間の検診受検率を平均すると、およそ七三・八%でまずまずというところ。高野保健婦は次のように語つた

「今までは学生部を通して呼出しをかけたりして無理にも検診して貰っていたが、社会に出てからは、健康が第一なのですから充分気をつけて健康診断を受けて下さい。特に注意を受けている人は根生するように」とのことだつた。

昭和32年度就職状況

	33・3・14現在 経	文	理	小計
鉱山・石炭・石油	14	2		16
電力・ガス	1		1	2
鉄鋼・非鉄金属・軽金属	24	7	3	34
諸工業	77	7	2	86
電機・電線	38	7	1	46
計器・光学	14	3	1	18
車輌	65	8	1	74
鉄道・運輸	37	10		47
倉庫・不動産	7	3		10
化学・工業	37	5	8	50
医薬品	3	2		4
油脂・塗料	3	2	1	5
食品・醸造	36	5	1	42
窯業・セメント・ガラス	9	1		10
ゴム・皮革	7	1		8
繊維・繊維	31	3		34
製紙・パルプ	13	2		15
新聞・出版・印刷	19	7		26
建築・木材	19	10		29
銀行・信託	52	6		58
保険	40	7	1	48
証券	24	4		28
商事・貿易	163	40	3	206
百貨店	7	1		8
興業・観光	22	8	1	31
放送	10	12		22
官公庁	3	3	1	7
教職	8	9	2	19
その他	30	16		46
合計	812	190	27	1029

タッカー・ホール グリーン・ハイツ無料化なる

級委対策委、総長と団体交渉

級委員会では昨年十二月より第一次、第二次、及び第三次団体交渉を総長と授業料値上げ対策委員会との間で行つた。その内容は授業料値上げ金額撤回、学園の民主化、学生の福利の拡大、勉学条件の改善など総括的な四項目に亘るものである。その結果グリーン・ハイツ及びタッカー・ホールの使用の無料化が左記の要領で実現された

イ、立教学院が正式に使用する場合、及び外部団体の使用申し込みのある場合を除き、学生会所属団体はこれを使用することが出来る。

ロ、附属設備使用料、会場費は一切これを無料にする。

また出欠制、指導時間、不自由選択などの勉学条件の改善についてはよく検討し、四月上旬に教授と学生の懇談会を開く予定であるなお去る二月二十六日には理事会に対して要請状を手渡しているので近日中にその解答が得られる見通しである。

卒業後の立教を知るために！

卒業後母校の動向はやはり気になるもの。学園のニュースは勿論、学術、政治、経済、文化、スポーツその他あらゆる分野のニュースを盛る本紙をぜひ御購読いただき、長く母校を見守つていて下さることを祈ります

原則として毎月二回発行

一年分二百円(送料共)

申込書

住所

氏名

立教大学新聞　年分を購読致しますから購読料　円を添えて申込みます

東京都豊島区池袋三丁目

立教大学新聞学会

振替東京七〇八五二

要注意者は八十二名

卒業生の健康状況

本年卒業生の健康白書を診療所の統計(三十二年十二月現在)からみると、注意を要する者は合計八十二名で全体の三%、昨年の卒業生にくらべると三十五名の増加となっている。このうちわけは、要休養者六、要監視二十八、要注意三十八で昨年より要休養者が二名減り、要監視者が十名、要注意者が二十七名の増加をみている。

さらに全体の注意者は三年当時の三十一年度よりも三十五名の増加を示している。この結果をみると一見本年卒業者は健康に恵まれる者が比較的多いように見うけられるが、この点につき診療所では原因の一つに学生数の増加、精密検査による管理の厳密化が考えられるといつている。次に療養による推移をみると三十二年四月から十二月までに三名が注意を解かれ健康体になつている。最後に卒業生全員が二十九年入学以来の四年間の検診受検率を平均すると、およそ七三・八%でまずまずというところ。高野保健婦は次のように語つた

「今までは学生部を通して呼出しをかけたりして無理にも検診して貰っていたが、社会に出てからは、健康が第一なのですから充分気をつけて健康診断を受けて下さい。特に注意を受けている人は根生するように」とのことだつた。

波紋

冬の薄暗い穴倉から目覚めて、続ての生物の活動が開始する。春を告げるウグイスの囀りも可憐である。三月の終頃となれば少し山の方へハイキングに出掛けてみるとキフチヨウ、テングチョウが、春の日にその羽をキラキラ照らしている。一杯にふくらませた蕾の芽も春の息吹きを感じさせる。東京にはもうツバメが飛んできた所があるという▼昔でいうなら、〝色も香もうしろ姿や弥生尽(蕪村)〟であろうが、これからがうららかな春の陽差しを楽しむ季節であろう。卒業式も昔と今とは大分違う。人生の門出に立つてメソメソする人もなくなった▼〝十有五而志于学〟て以来人生六十年といえば、既に三分の一を経て来たことになる。〝三十而立〟まで五年、試練の期間であろうと同時に立教で学んだことが役立つ時でもある。産業界へ、報道出版界へ、教育界へ。そしてさらに教育をと、大学院の修士課程へと進む人もあろう▼大学院は修士課程の上に三年間の博士課程がある。三年前に制度がかわり、今年度からは博士の上に大学名がつけられ何々大学博士となるわけである。今年度は理学部から一名論文が提出された。そして一年間の審査期間を経てパスすれば始めて立教大学博士の誕生である。これを期に立教独自の新鮮さを持つて、学界で大いにあばれてもらいたいものだ▼〝生命に至る道は狭くその門は嚮し、その道を見出す者は少し(マタイ伝七章)〟しかし各人の道は開けているはずである。神と国とのためにをモットーとする本学でも、宗教は決して強制されなかつた。が、神は鈴の音をさずけにわれわれに逢いにきた、そして勉者に総てを与えるという▼本学における出席制はかなり厳しい。出席時間を気にしながら、朝飯抜きで講義に出たのも、社会に出て案外益することもあろうというもの。〝仔羊とともに寝ね雲雀とともに起き〟れば健康にも良し。

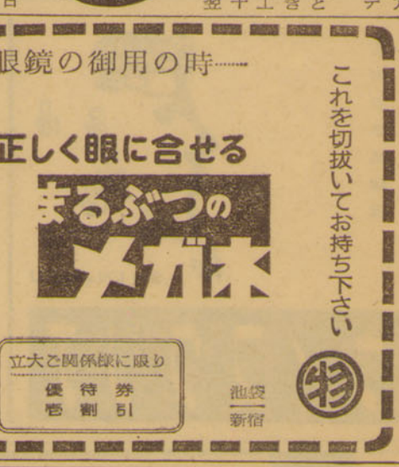
東京都公安委員会指定
普通免許
小型免許
技倆証明発行
公認 池袋自動車練習所
豊島区池袋4丁目1768　電話 池袋(97)4424
国鉄池袋西口より徒歩10分・バス池袋4丁目
熊野神社前下車

みのりフイルム
写真用品
8m/m シネ用品
株式会社 六和

眼鏡の御用の時……
これを切抜いてお持ち下さい
正しく眼に合せる
まるぶつのメガネ
立大ご関係様に限り
優待券
壱割引
池袋 新宿

ライフスナイダー氏逝去

元本学総長チャールズ・エス・ライフスナイダー主教は三月十六日アメリカ・カリフオルニア州パサデナで死去した。八十二歳。氏は大正元年タッカー氏の後任として就任し、校舎拡張計画を引き継ぎ着々進渉させて五年には起工した。昭和十五年十月まで約三十年間立教大学総長をつとめた。翌十六年帰米しパサデナで暮す。日本政府から同年勲三等を贈られている。現在まで本学名誉総長。尚本学では四月十三日午後三時より礼拝堂で記念追悼式を行う予定



外交官・留学生・ガイド・通訳など志望の方、海外旅行・就職、広く一般社会……商談……教養に今迄学んだ英語を活かし度い方は来れ！　随時受付
広田英会話学院
個人教授と小組(二週間速修コース)(初歩より最上級)
日常会話科・討論通訳科
新宿東京スケートリンク隣北側

立教文化の中心をなす

定期購読のおすすめ

卒業生の皆様御卒業おめでとうございます

本学会ではただ今定期購読者の募集をしております

充実した編集と企画！

立教大学新聞は大正時代からの古い伝統と大きな権威をもち、常に皆様の新聞として自由な立場自由な視野にたつて充実した編集を誇つており、数ある学内報道機関の中心をなしております。そして常に立教文化の中心となつています

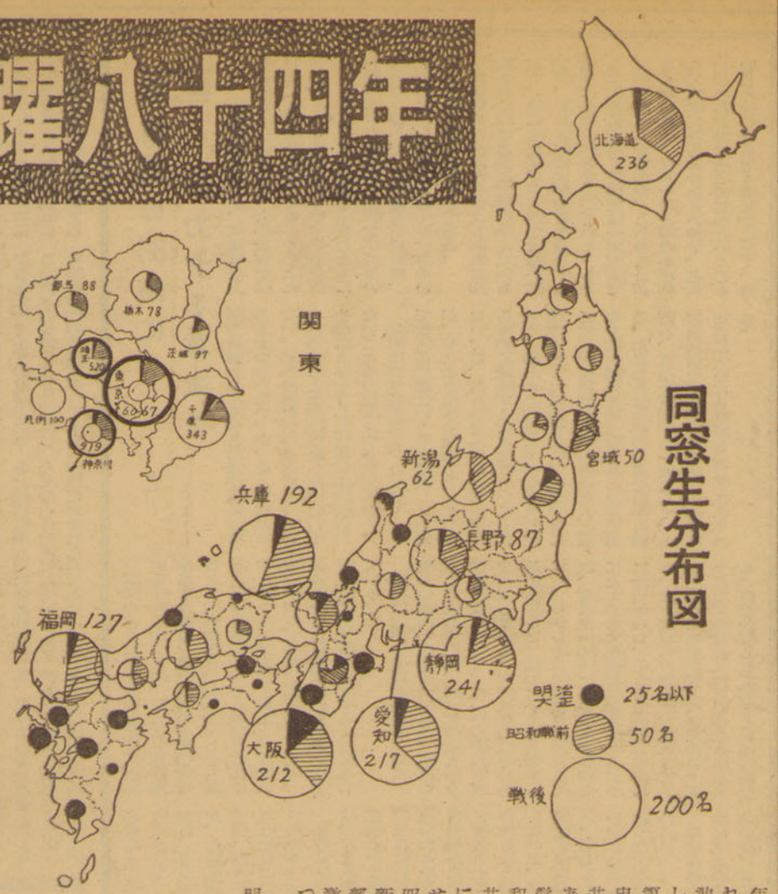
立教大學新聞

御予約申受付

O・Bの活躍八十四年

四年間のさまざまな感慨を籠めながら卒業生諸君は我が道の門出に立つている。八十四年の歴史を歩んで来た本学も、或る時は荒々しい世相の波風に押されながらも、決して流されることはなかつた。ここで本紙は八十有余年の統計から見た卒業生の活躍を探つてみた。

同窓生分布図



明治四十年大学開校

初期に多い宗教関係

立教大学は今年で八十四年目を迎えた。明治七年十二月チャニング・ムア・ウイリアムズ主教が築地に基督教による日本青年の教化という抱負を持つて、私塾を開設したのが、本学そもそもの淵源である。当時は教師四名、生徒教僅か五名の微々たるものであつた。以来明治二十九年新校舎の落成と共に初期の苦難の時代を終り、第二の発展段階に移るのであるが、その間明治二十二年には当時の文部大臣森有礼が暗殺され、世相は鹿鳴館時代の欧化心酔の反動として国粋思想が風靡し、信教の自由が公認されたとはいえ、反基督教ミッション・スクール排撃に傾き此の趨勢に立教学校も衰退、学勢の不振をきたしたのである。そして更に明治三十二年日清戦争以来興つた国家主義的思想によつて、宗教教育を施し、宗教上の儀式を行うことが禁止された。その後同三十三年に立教学院の機構成り、同四十年立教大学が開校したのである。当時の学長は元田作之進氏であり英文学科・哲学科・商学科の三科が設けられた。これより四年後はじめて立教大学卒業生がだされたワケである。そして四十二年迎賓に大学教進二万七千坪を買収して十年後の大正八年大学校舎の第一期工事が完成し、宗教学科・史学科・経済学科が開設されると共に、立教の黎明時代が続くのである。そして昭和に入り、六年、商学部が経済学部に改称された。昭和十八年太平洋戦争が勃発すると共に文学部が一時休止のやむなきに至り、十九年に学徒勤労分が発せられた。昭和二十年終戦、二十四年に学制改革により立教大学は新制大学に移行、文学部・経済学部・理学部の三学部が設置され急激に学生数の増加をみ、今日に至つたのである。（次表参照）

年次	事項
明治七	ウイリアムズ主教築地に英語学校を開設
一五	工、校名を立教学校に改む
二〇	大阪英和学舎を合併
三三	立教学院の機構成り、立教中学校英語専修学校の名を冠す
四〇	立教大学開設。英文学科・哲学科・商学科を置く
大正八	海老名弾正氏就任。宗教・史学科・経済学科を置く
昭和六	商学部を経済学部に改称
一八	文学部休止。大学令廃止へ
一九	立教学院専門学校設置・学徒勤労分発令
二四	立教大学新制大学に移行、文学部・経済学部理学部設置

今年も文・経・理各学部合せて二三二四名の卒業生を社会に送つた。明治七年の開校である本学も実質的見て、第一期卒業生は明治四十四年である。以来昨年までの全卒業生は学校側発表によると経済学部（商学部を含む）九六七二名、文学部二四四八名、理学部二三二四名の卒業生を社会に送つた。明治七年の開校である本学も実質的見て、第一期卒業生は明治四十四年である。以来昨年までの全卒業生は学校側発表によると経済学部（商学部を含む）九六七二名、文学部二四四八名、理学部（新制大学以降）一六五名にのぼる。

ここで本学先輩はどのような分野で活躍しているか。まず教育、宗教部門から順次探ねて行こう。明治四十四年以前、立教学校および旧立教大学校校友名簿を繙くと明治二十六年卒に立教の巻元老ともいわれる倶楽部大郎翁（本学講師）の名がみられる。同教授は既に本学 再興の年、明治四十年 当時の記録に英語講師で名を

着々築く立教の地盤

関東に80%が集まる

とんどが日本聖公会司祭あるいは主教で教会、学校に籍を置いている。本学総長松下正寿氏（六一期）はいうまでもない。変つたところでは金光教、都議会議員、東京教会長の畑一（大4文）氏がいる。宗教学科から始めて卒業生を出したのは大正十四年であり、戦後基督教学科になつたのであるが、昭和に入つて目立つた傾向は二年から十九年までに宗教関係へ進んでいるのが六十五名いることである。それ以後は毎年各学科合せても二、三名にとどまつている。教育関係では、各学科合せて明治年間五名、大正年間五十三名、昭和年間は戦前が二二四名、戦後三三五名、計六〇七名になつており、各種を通じてかなり人数が多い。特に英米文学科において教育に進む人は多く、昭和年間は戦前で七十七名、大正年間で五十七名であつた。

この他教授家の名会社に多く先輩を輩出している。木村総一郎（昭8商）、東京スマックス商会取締役社長伊藤通朗（昭1経）、その他商事界へは多くの人材を送つている。年代をみると各科合せて大正年間僅か四十六名であつたが昭和に入り一挙に増加し、戦前三三〇名、戦後二千九年まで六九〇名、更に三千年から三千三年まで七七〇名にも上る。（グラフ参照）こういつた傾向は何れの職種にもみられる。大正八年独逸に移り、第三期立教大学商展の時期を迎え更に昭和二千年終戦、二千四年新制大学として新たに出発してからは生徒数が急激に増加した。これは一私塾から生れた立教学校が八十年後の今日このように各界に進出しているのの原があるが、給料関係には個人なる数字を示し、特に廿九年以降急速に増加を示している。運輸、船舶関部門合せて九二四名、鉄鋼関部門合せて一二〇名を占める。昭和廿年の卒業生で運輸関係に従事しているのが六・経合せて三千名以上にも達しており、また船舶には昭和二九年卒業生で同じく二四名就職している。昨年の卒業生は六名が大量入社したのなとはいい例である。こうした車輌部門への進出は、最近の経済界の動きにかなりの影響があるのは勿論、先輩に東京トヨペット常務取締役税所時蔵（昭11経）三菱自動車KK取締役社長岡見知雄（昭14経）京王帝都電鉄取締役岡黒三郎（昭3商）といつた人達の活躍に負う所が大きいであろう。

金融部門に目を転じると、特に証券界では大正及び昭和期の先輩がズラリ顔を並べている。四大証券の一つ山一証券には藤田寛治（常務取締役・昭8商）日興証券取締役堀田達夫（大9文）野口清（山文証券常務取締役社長、室蘭証券）など、また銀行・保険では、日本信託銀行社長大川久三郎（昭6商）第百生命相互常務取締役山崎大次郎（昭4経）といつたところ。これら金融部門では戦前からの傾向であるが、証券界へは戦後急にその数を増している。三部門合せて七名の万両で活躍している先輩は一一五七名で、職種別者中十二・八%に達している。スマートさを好む立教ボーイに適した職種というのだろうか。

スター級が並ぶ報道界

報道（自社を含む）、出版界はどうか。本学出版界の最古参は藤井陳太郎氏であろうか。明治四十五年に文科を卒業し、日本農民新聞社の福岡支社長をしている。報道出版界は他職と比べ人数は少いが、現役で活躍しているの人達は多彩である。東京朝日新聞西部本社整理部長大島泰平（昭7経）読売新聞論説委員中村雅二（昭5文）東京新聞社会部津田晃（昭15文）は英国の戴冠式に特派されている。理経の松本暁美（昭25文）朝日の運動部記者好松三郎（昭17経）や放送では関光夫（昭24文）といつた人が華々しく第一線で活躍している。また自由業（会計士、著述業、弁護士、芸能、放送を含む）特に芸能関係では、民芸演出家岡倉士朗（昭6文）上原謙（昭10経）から、石浜朗（昭32文）に至るまでスター級がズラリと並んでいる。これらの部門ではやはり文科出身者が目立つ。一五〇〇人もの人数が出ているが、勿論これは報道、出版といつても全てを含むものであり、自由業にもいろいろあるわけである。また文科でも英米文学科出身の者が多い。これらその他部門の他英米文学科では教育、興業、接客部門に先輩が多い。その他の職種では化学・食品・鉄鋼・接客・土建・農業・不動産などがある。化学（薬品・ガスを含む）では、経済を除き、やはり理学部の化学科からよく出ているが、それも、僅か二十五名（昭和二十四年から三十三年まで）にすぎない。接客（観光・ホテル・サービス）部門では昭和に入つてからが目立つ。それより前、明治二十九年文科を卒業した金谷真二氏は日光金谷ホテル専務取締役であり、丸の内ホテル取締役水井一郎氏は大正十五年商科を卒業している。昭和年間では、鬼怒川温泉ホテル取締役社長金谷鮮治（昭9商）などが活躍している。将来、ホテル科を設置する動きがあるなど、今後世相が安定すればこれら接客部門や興業方面への進出は著しくなろう。不動産は各年代を通じて五十九名農業も同じく十四名を数えるのみである。

是で一通り業種別に先輩の活躍をみるとき、それが創始者ウイリアムズ師への恩返しであろうか。次に醸造業（ゴム、セメント、製紙、木材を含む）に移る。特に昭和二千年から二千九年まで四二一名、それも経済学科から二六名を出しているが、社会学科からもかなり出ているが、他学科を見ると実に微々たるものであり、戦後は各学科を通じて醸造業への進出は鈍りつつある。

近年本学では職種部門への進出が著しいという。ここでは運輸（鉄道、陸、海運を含む）、船舶（自動車、電気）といつた部門をみてみる。この部門では商学科、経済学科、経営学科が大部分を占めている。運輸には戦後倒び倒しとはいえ後の学徒各自の問題となつた。タッカー・ホールの使用に関しては種々の問題を起している。級委が授業料値上げ反対の学生大会を開いたのにその使用を請願したが人数が集まらないことを理由に拒否された。学園の講堂は学生に使わせないという不法はないと叫んで運動が激化し、ついにタッカーホールの無料化が実現される。その他学園の民主化のために、三討論を徹底的に展開しその結果としての前記の学生集会が大きな意義をおさめた。その後六月二十五日に至つて委員会が結成、入団体となつて豊島区に原水禁を提出した。

原水禁を契機に活発化

今年に入つて二月二十三日の三回に亘つて学生大会を開き、私塾のおかれる位置など全般的問題にも協議がおよんだ。しかし年度の授業料値上げはついに衝動に駆られなかつたが、学園内の雰囲気として来年度値上げをしないということが明らかに言われている。出月に行われる総選挙の公選法が改正され、級委員会も それ自治成の為に、学生の組織と利益の擁護の為に自夜闘を進めつつある。

学生運動

学術施設が悩みのタネ

ある一人の選手はこう語つてくれた「まだ設備などは不充分ですが他の点は文句ないです。ただ一寸学校から離れているというネックはありますが……」

まだ、松下総長が、就任した際、青写真を携えて行つた、図書館増築の問題は、その後流れに流れて現在に至つているが、学校側としても、その必要は認めながらも、思うにまかせないような有様で、法学部の校舎建築の方が先になるか、そのへんの詳しいことは全然明らかにされていない。

食堂も数多くの学生の胃袋を満足させて来た。時代の動きにつれてテレビも新設され、椅子やテーブルもイカラになつた。しかしどの広い食堂も、昼休みにドッと集まる学生の所をさけることはできない有様だ。

三十二年六月十七日、十年振りの学生集会がタッカー・ホールで行われた。級委員会では学校当局に対し参加学生名数を得るため便宜を計るよう要求したが通せられなかつた。しかし集まつた五百名の討論を行つた。同年四月に松下総長が首相特使として原水爆禁止への討論を訴えて渡米した事を契機として原水禁運動の中で激討論を徹底的に展開しその結果としての前記の学生集会が大きな意義をおさめた。その後六月二十五日に至つて委員会が結成、入団体となつて豊島区に原水禁を提出した。

四年間の話題を拾う

教授

松下正寿氏の総長就任が選ばれたのは昭和三十年七月、翌休みに入つて二、三日してからのことだつた。佐々木顧三前総長の任期満了にあたつて、その成り行きが注目されていたが、それより前に佐々木前総長は勇退を決意していた。そこで理事会では八代理事長が松下正寿氏を推薦し、これが満場一致で認められたのだ。

松下総長は就任早々、渉外部長に国廣や原子力問題、そして三十二年三月には原水爆実験禁止を訴えるために、官相特使として欧米を回遊し、多大の話題をまいたが無事その重責を果した。そしては、ライフワークとして今願の問題である大学化のために大活躍をしている。

第一線を退いた佐々木前総長は現在は名誉教授として、学部、大学院ともキリスト教文学を講じているが、他大学の講義も浮げもたれず悠々自適の生活を送つている。

また昭和三十二年七月には、経済学部の宮川美教授が契約辞任を提出した。辞任の理由は「労働者教育に専念するため」ということだつたが、教授担当の経済原論の講義が中断するという事態を考えて、再三留任を希望したがならなかつた。辞任の線は察知であつたけれども、宮川教授にとれば全年の念願が実現したにすぎないことだつた。しかし教授の辞任によつて後任には「景気論」の山本三丸教授が決つたが、山口弁日の講義をもつて、本学に於ける経済史の講義を終了された。三年にはも大教授に迎えられた後も講師として経済史の講義を担当されている。

学術施設

二十九年に大学院、講堂、即ちタッカー・ホールの完成をみた。二十八年十二月着工以来一カ年を費し、二十九年十二月八日竣工式典も兼ねて、その落成式が盛大に行われた。入学式、卒業式などの式典は勿論、経済学部二、三年の授業をも行うようになり、殊に経済三年の必修課目は殆んどタッカー・ホールで行われてきた。ホールの使用に関しては、学生側と学校側で大部もめてきたが、学生側の強い要望が受け入れられ、ウイークデイには学生側の催物は一切無料と云うことになつた。この講堂ができてからは、学生活動の生の発表の場として大いに利用され、英研主催の昼休みのレコード・コンサートなどは、音楽愛好する学生達にとつて一つの憩の場所となつた。

一方、一昨年多大の期待と関心を持たれて完成した校舎のセントポール・グリーン・ハイツ（聖合グラウンド）はその後どんなに利用されているだろうか。

ある一人の選手はこう語つてくれた「まだ設備などは不充分ですが他の点は文句ないです。ただ一寸学校から離れているというネックはありますが……」

教授

淋しい有名教授の離校

ともキリスト教文学を講じているが、他大学の講義も浮げもたれず悠々自適の生活を送つている。

また昭和三十二年七月には、経済学部の宮川美教授が契約辞任を提出した。辞任の理由は「労働者教育に専念するため」ということだつたが、教授担当の経済原論の講義が中断するという事態を考えて、再三留任を希望したがならなかつた。辞任の線は察知であつたけれども、宮川教授にとれば全年の念願が実現したにすぎないことだつた。しかし教授の辞任によつて後任には「景気論」の山本三丸教授が決つたが、山口弁日の講義をもつて、本学に於ける経済史の講義を終了された。三年にはも大教授に迎えられた後も講師として経済史の講義を担当されている。

松下総長は就任早々、渉外部長国廣や原子力問題、そして三十二年三月には原水爆実験禁止を訴えるために、官相特使として欧米を回遊し、多大の話題をまいたが無事その重責を果した。そしては、ライフワークとして今願の問題である大学化のために大活躍をしている。

硬式野球初の春秋連覇

本学体育会にあつて、この四年間に三つの部が黄金時代を築きあげた。野球部が入学して以来、全国大会に優勝し何ようとの激なしのバドミントン、三千年に例の"創部新鋭"を起し、時の監督部長の浜岡、部史初のコーチ団制をしくなどの大試験を経た硬式野球、これは同年秋から東京六大学リーグで連続三シーズン二位、昨年はじめて部史初の春秋連覇を遂げると共に全国大学王座を奪つたことなどを考え合わせると、一時期を刻したと云えるだろう。更に全国制覇を契機に三千一年に卒業したレギュラーが学生活動中ドンカレを含めて前後十回の優勝を飾るという輝かしい業を残した。

以上三部を通じるものが、安定した力を持つバレー、アイススケート、軟式庭球ということろ、この中で目立つのがアイスホッケーで、二十九年を頂点にしてここ三年のあいだ宿敵明大にしてやられ伝統の定期戦で三連敗、更に全日本学生でも後塵を浴びるなど、一時の勢は陰をひそめた感がある。これとは逆に、ラグビー、はたまたバスケットでは、ここ三年間に六大学リーグで連覇三シーズン二位、昨年はこれまで部史初の春秋連覇を遂げ、全国制覇を契機に三千一年に卒業した